



看護部 H30年度目標

平成30年度も2ヶ月が過ぎようとしています。例年になく患者数が多く相変わらず慌ただしい日々を過ごす中でも、笑顔で患者さんに接していただいていることに心から感謝致します。

今年度は経営企画室からの提案である“地域に選ばれるベストホスピタル”をめざし、戦略として「連携・信頼・専門性」をキーワードに取り組むことになりました。

看護部のテーマは

「変化に対応できるわたしたち～柔軟性をもつ・受け入れる・咀嚼する・行動する～」です。

2025年を目前に今年度の診療報酬改定では人口の変化や技術革新への対応にむけて、人が人によるサービスの体制整備とともに、新しいニーズにも対応できる医療を目指しています。医療・看護の変化の中、私たちの対応も変化できるように、常に柔軟な頭をもち、熱いハートで看護にあたりたいと思います。

また、師長会では、看護部理念をより具体的にし、行動レベルにもっていけるようにしたビジョンを構築、そして看護方式・看護体制も見直していく機会と今年度は捉えています。さらに、認知症に向けての看護の充実も図りたいと考えております。

自らの仕事にやりがいと誇りを持てるように共に力を合わせていきましょう。

看護部長 久々湊 智予

教育委員会

「自主性・自律性の向上を図り、キャリアデザインを描ける」

昨年に引き続き、クリニカルラダーの充実を図り、看護実践能力の獲得をはじめ、自己のキャリア開発に努め、より質の高い看護提供ができる“人材育成”に取り組んでいきたいと思っています。今年度は、新人看護師研修をクリニカルラダーから独立し、クリニカルラダーも5段階から4段階へ改訂しています。又、集合研修も昨年より大幅に拡大しています。積極的な参加をお待ちしています。

業務委員会

「看護体制の見直し」「ICT導入」により、効率的かつ快適な看護環境を構築する

- ①看護方式PNSの推進：リーダー業務監査、部署の組織監査を実施する、グループ活動を継続する
- ②安全・速やかなICT導入：スポットチェックモニター導入前後で業務の効率化や快適さを比較しデータ化する
- ③ご意見対応：退院時アンケートの苦情に対し改善策を検討・実行する。

情報管理委員会

『患者・看護が見える記録の実践』－基本に立ち返り看護記録の質改善に取り組もう－

患者・看護が見える看護実践・記録の充実が求められており、当院でも看護記録記載や看護過程について多くの課題があります。

今年度は、患者・看護が見える看護の実践と患者説明・指導に関する看護記録の記載、看護必要度評価の統一を図り確実な看護必要度評価が行えるよう、記録記載システム・手順の整備、記録監査実施、記録に関する学習会の開催や研修参加を通して看護記録の質改善に向け取り組んでいきます。

基準手順委員会

「看護手順から逸脱することなく、患者に安心、安全な看護が提供できる」

前年度に引き続き、計画的に基準手順の見直しや改定を行い、スタッフへ手順の遵守への働きかけを検討し、医療安全管理と連携しながら、インシデント事例から手順から逸脱した事例を抽出し、スタッフへ遵守率調査を実施したいと考えています。

各部署目標

外来

「外来4K！！ ～会話する。観察する。考察する。記録に残す。～」

会話する。観察する。考察する。記録に残す。の頭文字Kから「外来4K！！」とインパクトがあり、スタッフの記憶に残り1年間意識して行動できる目標となりました。

具体的活動としては、外来の記録に力を入れて行く事を目標に、「タイムアウト」「外来サマリー」「救急外来記録」の3つの記録を自分達が行った看護や患者さんの反応が見える記録が記載出来るように取り組んでいこうと思います。

手術室

「責任と思いやりの心を持ち、こころに寄り添う看護を提供する」

【グループ活動】チーム安全「ムダを省いて質の高い手術看護を提供できる」

チーム術前「術前アプローチを構築し安心・安全な手術看護が実施できる」

家族を含めた安心・安全な手術を提供し、円滑なチーム連携を図るようにしています。

今以上に他部署と協力しながら周術期看護に取り組んでいきたいと思っています。



3階東病棟

「基本をおさえて変化に対応する」

整形外科、神経内科の急性期病棟として、安全な看護を提供するためにH30年度の病棟目標としました。PNSの2つのチームは、内服管理とカンファレンスに関する活動を行います。また、接遇の基本をしっかりと押さえ、よりよい入院環境の提供のために努めたいと思います。

整形外科の周術期、神経内科における急性期にある患者の状態を的確に把握し、医師とコミュニケーションをとりながら適切に対応しつつ、多職種での患者、家族の身体的、精神的、社会的支援の早期介入を目標に活動を実践していきます。

4階東病棟

「患者・家族が、『大切に頂いた』と感じることができる看護実践」

H29.7月の病棟再編に伴い、看護スタッフの大幅な異動があり、その状況になっても看護の質を低下することなく提供し、その後も看護の質の維持・向上に努めています。大きく看護の質の低下を来してはいないと感じていますが、理解が不十分な場合や曖昧なまま実践している事も多々あります。平成29年度に実践出来なかった部分の足元を固める時期と考え、取り組んでいきます。

4階西病棟

「急性期合併症を予防し、快適な生活と早期退院を支援する」

昨年度の7月、病棟編成とスタッフ異動により、慣れない中で様々な疾患患者さんと向き合いそれぞれが悩みながらの一年でしたが、標準的な看護は身につけてきたのではないかと考えています。

そこで、今年度は一歩前進して病棟目標に沿って、それぞれのグループが活動を行います。

急性期合併症予防グループは、肺炎や褥瘡だけでなく身体抑制による活動性低下も視野に入れ予防策を検討します。

退院支援グループは、認知症ケアも考慮しPFMとの連携構築に向けた取り組みを行っていきます。

地域包括ケア病棟

「つながる医療の実践」～患者・家族、それを支える地域の方々との連携強化～

地域包括ケア病棟は4年前の10月、国の政策で全国一斉に設立されました。地域包括ケア病棟は「地域包括ケアシステム」の一部です。その目的は高齢者や要介護者が疾病を抱えながらも、住み慣れた場所で自分らしい生活を続けられるようサポートする事にあります。ここ数年間で地域における医療・介護の関係機関の連携が充実してきました。昨年より連携に力を入れて、患者さんをサポートしています。「もう一度、在宅復帰を目指したい！」と日々頑張っている患者さん方の力になれるよう、患者さんを在宅で支える方々と繋がる事で、一緒に目標達成できるように取り組みたいと思います。



回復リハビリ病棟

「患者の障害受容に応じた退院支援ができる」

受傷によって変化した患者の思いを聞き、患者・家族が身体的・精神的・社会的にその障害を受け入れ、退院後の生活をイメージできるように、看護職員、多職種が連携を図り、個々の患者に合った退院支援をしていきたいと考えました。

ブルーチーム：「スタッフみんなが、退院後の生活をイメージした退院支援カンファレンスが実施できる」

ピンクチーム：「設定した退院目標・退院時期の100%達成を目指す」目標達成のための具体的活動計画を今後検討します。

新人看護師10名紹介



安倍松

今まで准看護師として働いており、今年から看護師として働くことになりました。分からないことが多いため、迷惑をたくさんかけると思いますが、日々勉強に励み一人前の看護師になれるように一生懸命頑張ります。趣味はお菓子を作って自分で食べることです。よろしくお祈りします。

磯口

本年度より看護部に入職しました。趣味は漫画を読んだりアニメを見る事です。あと、カラオケも好きでよく行きます。特技はサッカーです。知識不足でご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、精一杯学んで、一日でも早く病棟の戦力になれるように頑張ります。褒められると伸びるタイプなので、どうぞよろしくお祈りします。

奥平

鹿児島看護専門学校を卒業し4月より入職しました。これからたくさん経験を積み、患者様に寄り添える看護師になれるように頑張りたいと思います。趣味は特になのですが、小学校の時はバレーボール、高校の時はバドミントンをしていました。他にも、色々なジャンルの音楽を聴くことも好きです。まだまだ不安なことがあります、宜しくお願いします。

田島

神村学園専修学校を卒業しました。宜しくお願いします。趣味は特になのですが、あまり家でじっとしているのが好きではないので旅行に行ったり、休日は子供と公園に行ったりと出かけることも多いです。まだ入職したばかりで色々な事が不安ですが、一つひとつのことをしっかりとこなしていけるように、先輩看護師を見てたくさんを学んでいきたいと思っています。

西野

川内市民病院で、学生として働き、今年から看護師として配属される事となりました。医療職の経験も無く、不慣れで右も左も分からない状態でしたが5年間看護師になるまで温かく見守っていただき感謝の気持ち一杯です。これからは看護師として、スタッフの一員として恩返していきたいと思っています。その為にはスタッフ・患者共に信頼される看護師になるよう、努力する事が大切だと思います。ご指導のほど、よろしくお祈り致します。

飛鷹

4月から看護師として働くことになりました。今までは准看護師として働いていましたが、これからは看護師として色々覚える事が多く、知識不足でたくさん迷惑をかけることもあると思いますが、一生懸命頑張りたいと思いますので、よろしくお祈りします。

松崎

今年度より看護師として入職致しました。趣味はバレーと食べる事、最近は先輩方に誘われロードバイク(自転車)に挑戦中です。看護学生として市民病院で5年学ばせて頂き、今年から看護師として改めて学ばせて頂きます。ご迷惑をおかけしますが、看護師として成長できるよう頑張りますのでよろしくお祈りします。



溝上

阿久根看護学校を卒業しました。看護業務の経験が無く、初めて経験する事が多く戸惑う事も多々ありますが、先輩看護師に教えて頂きながら一つ一つ勉強して学んで行き、信頼される看護師になりたいと思います。宜しくお願いいたします。

森木

川内看護専門学校を卒業し、今年度より看護師として働くこととなりました。不安も多々ありますが、今後も勉強に励み患者様にはもちろん共に働くスタッフにも信頼されるような看護師になりたいと思います。よろしくお祈りいたします。

山下

私は高校卒業後、4年間働いてから神村学園へ入学しました。今年から看護師として新たな一歩を踏み出す事ができ、本当に嬉しく思います。しかし、知識や技術はまだ一人前には程遠いため、これから精一杯努力し、一日でも早く患者様に満足していただける看護を提供できるようになりたいです。

好きなことはお菓子を作ったり、音楽を聴く事です。体調管理にも気をつけ、バランスのとれた生活を送っていきたくと思っています。



院内研修報告

看護研究発表会を終えて

3月19日に看護研究発表会があり看護研究発表が3部署、看護計画発表が4部署でした。各部署の特徴を生かしたテーマが多く、どの研究も興味をそられるものばかりでした。日々行っている看護の中から疑問に思ったことに目を向けることで、看護の目的を明確にすることができ、また看護の質の向上にも繋がるのだと改めて実感しました。看護研究を行うには日々の看護や業務に加えて、時間も労力も必要であり心身共に大変ですが、頑張った分以上のものが患者さんにも還元されると思います。今回の看護研究発表会を終えて、今後も自分の行っている看護行為に疑問を持ちながら更に看護の質を向上できるように取り組んでいきたいと思ひます。

地域包括ケア病棟 黒武者

新人看護師オリエンテーション教育を終えて（講師体験を通して）

4月4日、3東のプリセプター2名で採血・血糖測定・血液培養・検尿各種検体についてのオリエンテーションの講師をさせて頂きました。初めての講義で自分も緊張していましたが、出来るだけ新人看護師の表情を見て、理解度を確認したり、時々質問を交えながら講義を行いました。デモンストレーションでは駆血帯の巻き方や採血中の針の保持の仕方、針を抜くまでの手順などに戸惑っていた新人看護師に対し、声を掛けながら、ゆっくりやって見せたあと、実際にさせてみると、一生懸命技術を習得しようとしてくれたため、とても嬉しかったです。

今回の講義体験を通して、相手に理解してもらうにはどのように工夫したらいいかを良く考えることができたため、病棟で新人看護師を迎える際にも意識したいと思ひます。また、今まで自分が知らなかった知識もあることが分かったため、分からないことは新人看護師と一緒に学んで行きたいと思ひます。

3階東病棟 福山



マイブーム

マイブームというよりは、私の癒しですが、私の実家ではカニンヘンダックスフンドを飼っています。名前は『ちい』です。去年の夏にブリーダーの犬舎に見学に行った際に、一目ぼれしました！おとなしい子と言われていましたが、実家に行くとき飛びついたり、走り回ったり、元気いっぱい！可愛いのでついついおもちゃを買ってしまいますが、すぐ壊されたりします。(泣)でもめげずに買ってあげています。最近ではお座りやお手ができるようになって可愛さ倍増です。親から定期的に写メが送られてきたり、休みの日は実家に帰ってちいと遊んで癒されています。もうすぐ1歳の誕生日がくるので何をプレゼントしようか考えているところです♪

地域包括ケア病棟 甲斐



ミニナラティブ

進行胃癌にて入退院を繰り返している60代男性との疼痛ケアに関して振り返りたいと思ひテーマに取り上げました。

患者は再入院時右側側頭葉の心原性脳梗塞により左片麻痺となっており、上下肢を動かすことが出来ず、疼痛増強の際はコールを頻回に押す事がありました。その際、「痛い」「気持ちが悪い」「さすってほしい」と訴えられ、その都度看護師が背中をさすり、体位調整を行いながら対応していました。しかし、コールの回数は増すばかりであり、検温時など忙しい時間帯では十分に時間を取り対応する事が出来ませんでした。訪室時患者の要求により対応すると、「気持ちがいい」「ありがとう」と言葉をかけられましたが、丁寧なケアが本当に行えていたか自信がなく、申し訳ない気持ちが大きかったです。なるべく余裕のある時間帯に交代で訪室し、話を聞きながら体をさするよう対応しましたが、急性期病棟で行える緩和ケアとして、もっと何か工夫が出来たのではないかなと思ひます。患者と家族が求める事を理解し、それらを業務の中で行えるよう改善し、患者と十分に関わる事が出来たと思ひる看護を行っていききたいです。

4階東病棟 西村

編集後記

新燃岳の噴火に続き、硫黄山までも・・・気の落ち着かない日が続いています。気持ちを一新するためにも、時には、好きなカラーや香りを取り入れてみるのはいかがでしょうか。その一つに「レモングラス」は、自信を持って夢に突き進む力を与えてくれるそうです。これから、梅雨入りも懸念されます。体調管理に十分気をつけて、自己実現に向けて、一歩前に踏み出す勇気をもっていきましょう。(久保)

